



「四角い布 Handwoven textiles from Okinawa」

刊行のお知らせ

沖縄には実に多種多彩な織りの歴史があります。そのひとつ、かつて琉球王国時代に城下町として栄えた首里で、王府の貴族・士族用の着物や帯が製作され、現在も織り継がれる首里織。首里織の工程の緻密さと、布の美しさに魅了された沖縄出身のデザイナー真喜志 奈美 (Luft) は、和服を着る機会が減った現代、どうしたらこの手織りの布の美しさや心地よさを今の生活に取り入れ、文化をつないでいけるだろうと考えました。

そして、首里織の技と心を受け継ぐ織り手である上間ゆかり、金良勝代、新垣斉子と共に「四角いヌヌ（ヌヌ＝布。沖縄の方言）」プロジェクトを2013年に立ち上げ、ハンカチの製作と展示を行ってきました。

2020年春に東京で開催予定だった6度目の展示は、沖縄で9月17日（木）より9月27日（日）まで開催いたします。場所は、8月20日にLuftがオープンした新しい店「Luft shop」です。

そしてこの度、展示会に合わせて準備をしてきた一冊の本『四角い布』が完成しました。

この本には、上間、金良、新垣が織ったハンカチの空気を孕んだ触感、草木から生まれる柔らかな色彩、沖縄の空気、時間、3人がそれぞれに語ったルーツや発想の源などがゆったりと編み込まれています。

ぜひお手にとっていただけますと幸いです。

「四角い布 Handwoven textiles from Okinawa」

40 ページ B5 変型 / 言語 : 日英 / 450 部 限定
価格 : ¥3,000 + 税

デザイン : サイトヲヒデユキ

写真 : 大沼ショージ

テキスト : ベン・デイビス (The White Paper)、桶田 千夏子 (Luft)

企画・ディレクション : 真喜志 奈美 (Luft)

展示・販売に関するお問い合わせ : Luft shop

沖縄県那覇市壺屋 1-7-16, #103 (木、金、土 13:00 - 18:00 OPEN)

* 9月 17日 - 27日の展示会期間中は無休

shop@luftworks.jp luftworks.jp/shop



3人がこれまでに織ったさまざまな織物の端布。
一冊ごとに異なる端布を用いて装丁しています



「まだ完全に満足したことはありません。

作り手は 100% 満足のいくものを目指していると思いますが、
より良いものを作りたい、その欲求は常にあります。

それがないと、モチベーションを維持していくのが難しいと思います。」

上間 ゆかり (うえま ゆかり)



「織物は無限です。

なので、その時に感じたものを作っていけたらいいと思います。」

金良 勝代 (きんら かつよ)



「沖縄の昔の織物になぜ惹かれるのか、それは、素材そのものの力、
そして経年変化がよく見てとれるからだと思います。

大切に使われてきた布は、時と共に味わいを増していくはずですよ。
そういう雰囲気のもの、それが私の織りたい布です。」

新垣 斉子 (しんがき ときこ)

【お問い合わせ】

ご質問、取材や掲載用画像等のご希望がございましたら下記までご連絡ください。
デイリープレス竹形尚子

naotakegata@dailypress.org t. 03-6416-3201 / 090-1531-6268